

神奈川山梨教会連合会報

## かりん

内田さんは、昭和15年生まれで現在66歳。学習院大学法学部を昭和38年に卒業されておられます。

☆鶴見教会へお参りされるようになったのは、いつ頃からですか。

内田さん(以下内田) 鶴見に帰ってきた5・6歳の頃、母に連れられてお参りするようになりまして。が、子供のうちは先生の話聞いているのもつまらないし、朝早くに参らされるのもつらくて嫌でした(笑)。

小学校三年生頃から、鶴見教会のボーイスカウトに入ったのですが、ボーイで今の教会長や鶴見の信者仲間と知り合うようになり、一緒に御用やボーイの活動をしたのは、とても良い思い出です。

☆それから今まで、ずっと信仰が続いてこられたのですか。

内田 それがそうではなくて。：。大学卒業後の25歳頃から、仕事の忙しさもあって、たまに顔を出す程度のお参りになっていました。鶴見教会が布教七十年記念祭を迎える少し前に、母が亡くなりました。しばらくしてから、教会の奥様先生が私の自宅に来られて、母の仏前にお参りして下さいました。母は、教会で婦人会長の御用をし

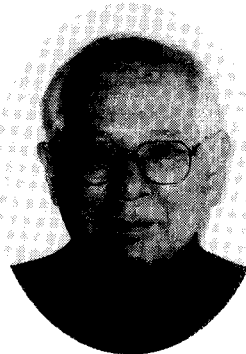
ていたと言うこともあったのでしようが、私は母のことを大切に思ってくれていたと感じ、嬉しく思いました。

ちょうどその頃、銀行を辞めて関連会社の法務部で顧問の仕事をするようになっていたのですが、以前みたくバリバリとは働きたくない(笑)という私の希望で週4日にしてもらっていましたので、お参りする時間がもてるようになり、母のこともあ

川でスベって山でコロんで……とってきました

Interview

第15回 内田政宏さん(鶴見教会)



ったので、久し振りにお参りするようになったのです。すると教会長が「内田くん、もうすぐ七十年祭を迎えるのだけど、御用にたってくれないか」と声を掛けられ、御用をさせてもらうようになりました。で、七十年祭が終わり御用も終わりかと思っていたら、また教会長が「内田くん、今度はこういう行事をさせてもらおうと思ってるんだが、御用を」と、つかまってしまう(笑)。

教会へ参拝しなくなった頃は、母は私に對して「お参りしなさい」等のことは何も言わなかったのですが、結果的に子供の頃は連れて行かれ、今は導かれて。と。参拝しないわけにはいけませんよ(笑)。

☆話は変わりますが、最近、肺がんになられたそうですね。

内田 平成17年11月に肺がんと告知され、手術をすることになりました。普通ならショックを受けるのですが、私は(孫の顔も見れたし、長生きして人に迷惑かけるなら今、死ぬのも悪くない)と、思っていたのです。手術した後、何が起るか解らないから、身辺整理をして妻に託し、前日の夜は「最後の晚餐かもな(笑)」と冗談を言い合いながら夕食を頂くとしていました。すると病院から電話が入り「内田さんのガンは薄く小さくなっており、今直ぐに手術をする必要はないので、手術は中止します」と担当の医師から言われました。

次の日、早速教会にお届けに行きました。が、教会長や信者さん、後からは連合会のメンバーからも「よかったね」「心配したよ」「祈ってたよ」と言ってもらい、天命かなあと思っていたけど、考え直さないといけないなと思いました。また、「もっと、御用にたちなさい」と、神様から言われたように感じましたね。

☆ありがとうございます。

### 神奈川 山梨教会連合会

## 平成十九年度 総会 報告

去る一月二十七日、神奈川 山梨教会連合会の平成十九年度総会が神奈川教会で開かれ、平成十八年度事業報告・決算案、平成十九年度事業計画案・予算案が審議され、承認を得ました。

以下に事業計画を掲載します。

#### 〈事業計画〉

##### ▼基本方針

金光大神の信心を今の世に生き生きと求め現す。

##### ▼活動方針

1. 信奉者の交流および教会活動の充実を図る。

2. 他連合会との連携を図り、首都圏布教を推進する。

##### ▼事業計画

1. 平成二十年度総会の開催

平成十九年度事業報告・決算案、及び平成二十年度事業計画案・予算案の審議と承認。

開催日 平成二十年一月二十六日(土)

会場 金光教神奈川教会

2. 教会連合会長選挙の実施

教会連合会長任期に伴う、選挙を実施する。

開票日 平成十九年十月十六日(火)

会場 金光教武蔵小杉教会

3. 運営委員会の開催

連合会に関わる全般について審議し、事業を円滑に進める。

4. 教師信徒合同研修会の開催

これまで二回の教師信徒懇談会を受け、これからの教会活動・連合会活動を生き生きと進めていくための方途を求める。

開催日 平成十九年六月十六日(土)

十七日(日)

会場 国民年金健康保養センター

さがみの

講師 吉川 信雄 先生

(福岡高宮教会)

5. 地域活動の推進

① 地域社会に金光大神の信心を現す  
教会連合会のホームページを開設し、金光大神の信心及び教会連合会の情報を発信する。

② 人材の発掘・育成及び教会活動の充実に資する。

6. 連合会だより『かりん』と『連合会通信』の発行。『かりん』は年四回(1・4・7・10月)、『連合会通信』は適宜発行。

7. 社会活動の推進

① 災害救援活動の情報発信・収集窓口を作る。

(以下、次頁の二段目に続きます)

それとなくさぐぐってみてから、自分の間違いに気付き大恥をかけたことがあった。また、自分の年を一才多く言ってしまったこともあった。忘れられない失敗談である。それから、自分の年や誕生日くらいはしっかり把握しておかなくてはと気をつけてはいるが、翻せば、それくらい年を忘れて過ごしているということでもある。物忘れと認知症の違いは、自分が物忘れをすると思っているかどうかと言うから、もしかして、私の老化は殊の外進んでいるのかも知れない。

ジパングの仲間入りをし、映画も格安で見られるようになり、間もなく、フラワーセンターも無料で入れるようになる。そして鎌倉では、入浴助成金もいただけるそうだ。その他、様々なことが老人扱いになる年令に突入する。

医師で95歳になられる日野原先生などは、75歳からを新老人と呼び、これまで使っていない脳を活性化させることを奨めておられる。なんと明るく希望のある生き方だろうか。

人はそれぞれだから一概に言うことは出来ないが、言葉は心と深く結びついているので、できるだけ前向きに生きて、明るい言葉を使えればと思っている。

(鎌倉教会 吉岡 裕子)

先日、ご信者の皆さんと一緒に「天地は語る」―金光教教典抄―を読んで、久しぶりに出会った御教に、ふと思わされたこと。

331「長患いの人や代々難儀の続く人が、神のおかげを受けるのは、井戸替えをするようなもので、八、九分替えて、退屈してやめれば掃除は出来ない。水はやはり濁っている。信心も途中でやめれば病氣災難の根は切れない、健康で繁盛するように元気な心で信心をせよ。」との教、私の心底には若い頃から止まっていた、ごく自然に聞ける御理解ですし、言わんとする内容と「井戸替え」の喩えは絶妙のように思っ て来ました。しかし、今の若者から見れば、多くは井戸を使ったことがない。ましてや「井戸替えて」といふこととなるだろうな、という話が出ました。

話し変わって、山村留学をしている子ども達が、生活の全般に渡って「お手伝い」というより「自分の受け持つ仕事」としていろいろなことに取り組んでいる姿を先日テレビで見せてもらいました。掃除は自室ばかりでなく、トイレや風呂場も順番に受け持つ。

風呂の様子といえば、今時あまりお目にかからなくなった五右衛門風呂。先に書いた井戸と同様使ったことのない人には分か

## かわるもの うしなうもの

喜實雄 田村 教会安子

らないところですが、誰かが薪を燃やさなければ温かくなならないへヒネルとお湯が出るのもなく、スイッチを押せば追い炊きが出来るものでもない。わけですから、先に風呂から上がった者が後から入る人のために、お湯が冷めないように薪を一、二本焼べておかなければならない……。

ところが、こうした不便な手間のかかる生活ぶりが自ら他の人への「思いやり」の育つ元になっている、との話も聞かせてもらいました。

今、私達の身の廻りには便利なもの・機能が溢れています。それがごく当り前のことです。どれほど心のこもったものも、手間ひまかけて作られたものでも、「当り前」と受け取れば感謝の対象にもなりません。連合会行事にあまり参加していない者ですし、地曳き網、ミニキャンプ、〇〇狩り、◇◇掘り、バーベキュー等々、毎年の行事。準備・実施の大変さは良く承知しているのですが、それぞれの企画が単に楽しむだけに終わらないで例え、空気や水の大切さ。海と私達とのつながり。天地のお恵みと私の身体(食物の育つ手間や時間)。等々を観ることで感謝の気持を持てるようになったり、助け合うことの大切さを感じられる。願わくはそうした面も、企画の中に加えていただければ大変ありがたいと思うのであります。

## 年を忘れて

ひよんなことから、そう言えば、私は、死について考えたり、年ということを感じたりすることがあまりないということに気がついた。

若い者に迷惑を掛けないで一生を終わりたいと願いつついた方が、その通りのおかげをいただかれた話を聞かされたことがあり、願いつついたればそのようなことには思っていない。その願いの言葉さえまだ見つけていない。また、体の不具合はそちこちに感じてはいても、年とは結びついていず、日常生活をセーブすることもなくあわただしく毎日を過ごしているのだ。

勤めていた頃も、私より若い人たちから、疲れたとか、年だからという言葉をよく耳にし、何となく気になっていた。私は、それほど疲れるようなことをしてなかったのかも知れないけれど、そのような言葉を殆ど使ったことがなく、退職するまで、バレーボールやソフトボールなどもみんなと一緒にして汗を流したし、自分の体のことで休みを取るといふこともなかった。それもこれも健康だから言えることかも知れないが。

いつも誕生日を欠かしたことはない娘が、その日になっても何の気配もないので

神奈川 山梨教会連合会

天地金乃神大祭日程

教会名	日 程	時 間
横 浜 西	4月15日(日)	13時30分〜
甲 府	4月15日(日)	13時30分〜
津 久 井	4月21日(土)	13時00分〜
鎌 倉	4月22日(日)	13時30分〜
登 戸	4月22日(日)	13時00分〜
南 甲 府	4月22日(日)	13時30分〜
藤 沢	4月24日(火)	11時00分〜
小 田 原	4月29日(祝)	14時00分〜
川 崎	4月29日(祝)	13時00分〜
大 明	4月29日(祝)	13時30分〜
横 須 賀	5月3日(祝)	13時30分〜
子 安	5月3日(祝)	13時30分〜
丸 子	5月3日(祝)	13時00分〜
相 模 原	5月3日(祝)	14時00分〜
生 麦	5月5日(祝)	13時00分〜
平 塚	5月7日(月)	13時00分〜
鶴 見	5月11日(金)	13時00分〜
大 磯	5月14日(月)	13時00分〜
野 毛	5月19日(土)	13時30分〜
神 奈 川	5月26日(土)	11時00分〜
武 蔵 小 杉	5月27日(日)	11時00分〜

②各教会での活動を調査し、情報交換の定期的な集まりを開催する。  
③複数教会による共同作業の可能性を探る。

8.「親子のつどい」の開催

第60回少年少女全国大会(八月四日〜五日)に教会連合会として参加し、教会・世代を超えた交流を図る。

9.「女性のつどい」の開催

山梨で一泊二日の研修と親睦を行い、教会の枠を超えた交流の輪を広げる。十月二十九日(月)〜三十日(火)に開催を予定。

10.教師部活動

①「教師会」の開催(6回開催)。  
②一泊研修会の開催(右記のうち1回を充てる)。

③「教師家庭婦人の会」の開催

11.信徒部活動

①「講話と夕食の会」の開催  
十一月十五日(土)に開催を予定。  
②「地域交流会」の開催

野毛教会ハイキング

鶴見教会ビアパーティーへ参加。

③信徒部会の開催。

12.首都圏フォーラム活動への協賛

13.神奈川県宗教連盟活動への協賛

以上

〈な・が・れ〉

『一日百回のありがとう』

横浜西教会 鈴木 木光 政

横浜西教会では、「一日百回ありがとう」を本年の信心目標としている。意識をして数えているわけではないが、実行できていない。

朝から夜まで(寝ている間も)、あらゆる事を神様のお世話なしで生きていない私達。ありがたうの感謝は一日数限りないと、よく先生に言われている私である。全くその通りである。しかし解っていないが…と、いつも反省する自分が時には情けない。何かに夢中になっている時、ふと我に帰ると忘れておくことに気付く。そんな私もなるべく心掛けています。夜寝る時、一日を反省し一つ一つを思い出し、あの時、この時と、お詫びとお礼をするようにしている。

一日百回のありがたう。少しでも多く意識した中で、神様に、また周囲の全てに、実行できる私にならせて頂けるよう、心掛けてゆきたい。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 須賀院 明德

編集責任者 村田 光治

川崎市中原区小杉御殿町二一八二

〒211-0068 金光教武蔵小杉教会内